

<p>二月二十日(月)</p>		<p>○食事のマナー「マナーとエチケット」</p> <p>マナーは、行儀や作法のことを言い、もとは食事をする際のはしやフォーク・ナイフの持ち方などのテーブル作法のことを示していたようですが、現在では人と接する態度などでもマナーと言われるようになりました。また、エチケットは、もとは人との接し方のルールなどを表す際に用いられた言葉ですが、現在ではマナーと同じ意味合いで使われることが多いようです。</p>
<p>二月二十一日(火)</p>		<p>○ハンバーグ</p> <p>ハンバーグは、18世紀頃のドイツのハンブルク地方で、肉をひき肉にしたものにパン粉、塩などを加えた「タルタルステーキ」と呼ばれる料理を焼いて食べたのがハンバーグの最初とされています。その後、ヨーロッパ各地に広まり、日本には明治時代の頃に伝わってきたようです。今日は牛肉と鶏肉のひき肉に、たまねぎ、パン粉、塩、こしょうなどの調味料を加えてハンバーグを作りました。</p>
<p>二月二十二日(水)</p>		<p>○おでんの日</p> <p>今日2月22日は「おでんの日」です。日本にはほぼ毎日「〇〇の日」という記念日があります。記念日は昔からの季節に因んだ日もあれば、今回のように熱々のおでんを「ふう・ふう・ふう」と息を吹きかけて食べるころから、2月22日の「2(に)」を数字の読み方の一つである「2(ふう)」と読んで、2(ふう)、2(ふう)、2(ふう)と読み、語呂合わせて「おでんの日」となったようです。</p>
<p>二月二十三日(木)</p>	<p>てんのうたんじょうび 天皇誕生日</p>	
<p>二月二十四日(金)</p>		<p>○季節の果物「不知火」</p> <p>不知火は、長崎県にある国が管理している果樹試験場で、「清見」と「ぼんかん」を掛け合わせて誕生した品種のかんきつになります。誕生した当初はあまり栽培されず、その後、熊本県不知火町(現在は宇城市)で栽培が盛んになったところから「不知火」と呼ばれるようになったとか。不知火は、ヘタの周りに突起があるのが特徴で、甘みと酸味のバランスがよく、香りもよいので、人気のあるかんきつの一つです。今回の「不知火」もとびしま内で栽培されたものです。</p>

